

“食” “笑”
べると うを
せつ しょく えん げ
支える 摂食 嚥下の
専門家に学ぶ1日

若林 秀隆
横浜市立大学附属市民総合医療センター
リハビリテーション科講師
日本リハビリテーション栄養学会理事長

戸原 玄
東京医科歯科大学大学院
医歯学総合研究科
高齢者歯科学分野 准教授

河瀬 聡一朗
石巻市雄勝歯科診療所 所長
男の介護教室 代表
石巻圏摂食嚥下研究会 食べる輪 代表

日時 2018年4月22日 日 13:00~18:00

会場 ビジョンセンター永田町 6Fビジョンホール 定員 120名

参加費 5,000円 **早割** 3月末までの申し込みで4,000円 チケットの購入はこちら <http://ptix.at/QghDhG>



私たちグッドネイバーズカンパニーは、高齢化していく社会でも地域全体がより楽しく・豊かに幸齢化する未来のヒントを探るべく「いいご近所づくり会議」を2014年にスタートしました。

今回の「いいご近所づくり大会議2018」は、在宅ケアにおける「食支援」をテーマに、摂食嚥下リハのフロントランナーから最新の知見・ユニークな実践を学ぶシンポジウムです。在宅医療・介護に関わる専門職の方、地域ケアをもっとおもしろくしたい・ケアの領域で新しいことに挑戦したい方など、多くの皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

PROGRAM

プログラム

演題

1

地域の“食べる”を支えるために 私たちにできること

スピーカー

戸原 玄

東京医科歯科大学大学院歯学総合研究科 高齢者歯科学分野 准教授

1997年東京医科歯科大学歯学部卒／歯科医師・歯学博士
専門は高齢者歯科。歯科における摂食嚥下リハビリテーション分野を
牽引。「摂食嚥下関連医療資源マップ」の作成など、多方面から食支援
に携わり、ケアの普及・社会化を進めてきた。
2018年度の診療改定でより重きを置かれる在宅食支援。改めて、食支
援とは何か。機能評価やリハビリに限らず、食生活を支える意義、食支援
がもたらす多職種・市民連携の可能性など、総論をお話しいたします。

演題

2

地域高齢者の活動を支える リハ栄養と実践

スピーカー

若林 秀隆

横浜市立大学附属市民総合医療センターリハビリテーション科講師

1995年横浜市立大学医学部卒／医師・医学博士
リハビリテーション科専門医。リハ栄養の第一人者として、数多くの研究
報告を執筆。サルコペニア、フレイルの予防・早期発見・悪循環の防止
を、高齢期の健康維持の重要課題とし、特に活動・栄養・疾患に起因す
る二次性サルコペニアに攻めのリハ栄養を提言している。
医師・リハ職に限らず、高齢者の生活をみる多職種が現場で使える、リハ
栄養の理論と実践について、ご講演いただけます。

演題

3

「男の介護教室」の取り組みから 地域の食支援を考える

スピーカー

河瀬 聡一朗

石巻市雄勝歯科診療所 所長、男の介護教室代表

2003年松本歯科大学歯学部卒／歯科医師・歯学博士
専門は障がい児・者、有病者、高齢者の摂食嚥下障害治療。東日本大
震災後の災害歯科支援を機に、無歯科医地区となった石巻市雄勝町の
歯科医療再生に携わる。現在は男性介護者支援を目的とした「男の介
護教室」や、石巻圏の医療連携ネットワーク構築など、地域ケアの基盤づ
くりを先駆けて実践。これからの地域ケアの形を各地へ発信している。
今回は、地域ケア最前線の取り組み「男の介護教室」の話を中心に、実
践やその背景について詳しくお話しいたします。

話題
提供

社会参加の処方箋。全国に広がる 「くちビルディング選手権」

スピーカー

清水 愛子

一般社団法人グッドネイバースカンパニー代表理事

2003年 慶應義塾大学環境情報学部卒／政策・メディア修士
NOKIAインサイト&イノベーションチームを経て、2008年より博報堂イ
ノベーションラボに参画。デザイン思考を基軸としたイノベーションコンサ
ルティング業務を通じて、高齢化地域のヘルスケア課題に関心を持ち
2013年に独立。高齢化地域の医療・介護・福祉における創造的な課題
解決を目指し、グッドネイバースカンパニーを設立。

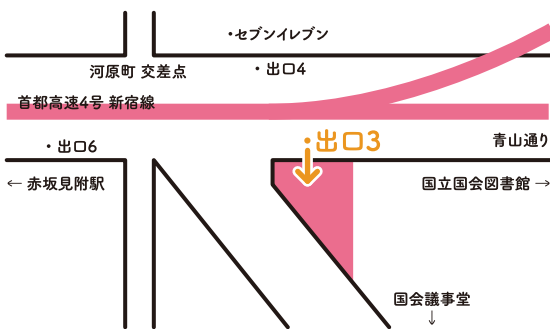
ACCESS

会場アクセス

ビジョンセンター永田町 6Fビジョンホール

〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-28

合人社東京永田町ビル 6F



東京メトロ有楽町線・半蔵門線・南北線
永田町駅3番出口より徒歩0分



プログラム詳細は、Facebookイベントページにて随時更新します。

<https://goo.gl/oNMC2q>



口の筋肉を鍛えて競う、笑える予防医療系スポーツ「くちビルディング選手権」

くちビルディング選手権は、子どもからお年寄りまでの多世代が混ざり合ってチームで戦う、摂食嚥下機能のトレーニングプログラムです。普段は意識しない“食べる力”について、あそびを通して楽しく自然と学ぶことができます。誰もが気軽に参加できる新しい形の予防医療・保健活動として、医療が持つ「する側／される側」という一方的な関係性や、地域の中にある世代間のギャップや、無関心を越えていきたいと考えています。

開催実績：全国23ヶ所・34回開催、述べ参加者数1500名以上
2017年度 グッドデザイン賞 受賞

くちビルディング選手権

検索



一般社団法人グッドネイバースカンパニー <http://gnc.or.jp>

グッドネイバースカンパニーは、これからの時代の「ケア」のカタチを探り、発信し、実行すべく、医療保健分野の専門職と、まちづくりやデザインの専門職が手を組んだデザイン集団です。体調を崩してから関わるというイメージが先行しやすい医療保健分野の課題を、楽しい雰囲気、多世代で参加する「プレイフルケア」へと転換し、健康なうちから関わりたくなる医療のあり方を提案しています。

